

文 貞實

中部学院大学 人間福祉学部 人間福祉学科 准教授

保育・介護現場における女性労働問題の実証的研究

本調査研究は、福祉系大学の「卒業後の仕事と生活に関するアンケート調査－労働環境の改善をめざして－」の調査結果を踏まえて、専門職である福祉労働者の労働実態と課題を明らかにし、その専門職性がどのように生かされているのか、ジェンダー労働の視点から分析したものである。その際、まず福祉労働のおかれている現状を明らかにし、その現状の背景となる制度改正の課題を明確にした。そのうえで福祉労働条件の悪化と福祉労働の専門職性との関係を検討し、福祉労働の専門職性の確保において求められる労働条件の整備について考察した。

調査方法：T大学人間福祉学部（人間福祉学科・健康福祉学科）、T大学短期大学部（幼児教育学科、専攻科、社会福祉学科）の1997年～2007年卒業生（4013名）を対象とした全数調査（郵送方式）を実施。調査の回収率は19.3%（773票）であり、有効回収率は18.9%（759票）であった。